

尿道下裂修復術クリニカルパス

経過	手術前日	手術当日		手術後		カテーテル抜去日	退院
		手術前	手術後	1～2日	3日目～		
食事	夕食まで普通に食べることができます。	ごはん、パンなどの固形物は食べられません。 水分制限があります。看護師と、水分の種類、時間を確認の上、水分量を水分表に記載します。	手術後2時間後より水分開始 看護師が腸の動きを確認してから水分開始です。 次の順番で進んでいきます。 ①お茶など ②ジュース・ミルクなど ③プリンなど ④夕食または軽食	水分制限が解除となれば、尿が出るカテーテルが細いのでたくさん尿が流れ出るよう飲水を進めます。 飲んだ量は計測して水分表に記載します。			
安静	病棟フリー	前投薬内服後は足元がふらつくのでベッド上で過ごしてください。	ベッド上安静 創部の安静を保つためにベッドにチョッキをつけます。 チョッキをつけたままベッドを90度まで上げることができます。 カテーテルや点滴を引っ張ったり、踏んだりしないよう注意します。		病棟フリー 圧迫解除後に看護師にて2重オムツにします。 創部を圧迫しないよう横抱きで、バギーはチョッキを装着したものを使用します。 歩行できる場合は、転倒・転落に注意します。 夜間、入眠中はチョッキを装着します。	カテーテル抜去後も創部は圧迫しないようにします。	
保清	なし	なし	なし	清拭・洗髪	清拭・洗髪	シャワー	入浴
創部処置			痛みが強いとき、熱があるときは、医師の指示に従い、座薬や内服薬を使用します	医師にて創部周囲の包帯に消毒液を注入します。	創部の包帯を除去します。 除去後より1日3回医師・看護師にて創部の消毒を行います。 排便時にも消毒を行います。	カテーテルを抜きます。 抜いた後は基本的に消毒は不要です。	退院後の注意事項に関しては、退院療養計画書を参照ください。
排尿・排便		手術前に浣腸を行います。	尿道にカテーテルを挿入し、そこから尿を回収します。 4時間ごとにカテーテルや尿の観察を行います。 尿の管理は看護師が行いますので、尿漏れなどに気付いた場合は看護師が確認します。 排便時のオムツ交換も看護師で行います。	便秘時は浣腸や緩下剤の内服を行います。		カテーテル抜去後、排尿状態の観察を行います。 尿の太さ、勢い、1本線であるか、いきんでいないかなど観察を行います。 上記のような症状があれば、看護師が確認します。	
注射薬			手術室で点滴を確保して帰室します。	点滴は継続します。 1日3回抗生剤の投与を行います。	術後2日目の朝の抗生剤投与後、発熱がなければ点滴を抜去します。		
内服薬		前投薬 *眠たくなるお薬です。 転倒・転落に注意し、ベッド上で静かに過ごします。			術後2日目夕より抗生剤を内服します。 (1日1回、夕食後)		